

第1章 安全性の確保を図るべき密集市街地

平成7年の阪神・淡路大震災を契機に、大阪府では、市街地の燃えやすさ、老朽建築物の集積状況、世帯密度を踏まえ、市町と協議の上、密集市街地整備の基本となる地区として計21市町39地区にわたる約2,421haを「災害に強いすまいとまちづくり促進区域」として指定しました（第1次：平成9年3月、第2次：平成11年6月）。

平成24年にこれらの地区での進捗状況も踏まえた上で、平成23年3月時点の延焼危険性等の状況を調査して、今後も取組みが必要な地区を整理するとともに、これらの地区のうち重点的に改善を図る地区として、住生活基本計画（全国計画）に示す国の考え方にに基づき、市とともに抽出作業を行い、「地震時等に著しく危険な密集市街地^{*}」を設定しています。

なお、大阪府域においては、老朽木造建築物等の集積、市街地の燃えやすさ、道路閉塞の可能性を踏まえ、平成11年度に面的な災害の可能性の高い市街地を「防災性向上重点地区」として抽出し、公表しています。また、平成14年度には、「防災性向上重点地区」のうち、国の都市再生本部における密集市街地の整備方針を踏まえ、「特に優先的な取組みが必要な密集住宅市街地」（優先地区）を指定しています。これらの地区を対象に国の示す考え方にに基づき「地震時等に著しく危険な密集市街地」を設定しています。堺市域においては、「災害に強いすまいとまちづくり促進区域」を対象に検討を行い、「地震時等に著しく危険な密集市街地」を設定しています。

大阪府では、市と協力し平成32年度までに「地震時等に著しく危険な密集市街地」を解消することを目標とし取組みを進めています。

^{*}「地震時等に著しく危険な密集市街地」については、平成24年10月に国土交通省から全国の様子が公表されています。【参考資料 P44】

《安全性の確保を図るべき密集市街地》

【取組みの基本となる地区】

◆災害に強いすまいとまちづくり促進区域等 ≪12市 21地区 約5,872ha≫

災害に強いすまいとまちづくり促進区域（11市20地区 約2,072ha）及び大阪市内の防災性向上重点地区（約3,800ha）を対象とします。



【重点的に改善を図る地区】

◆地震時等に著しく危険な密集市街地 ≪7市 11地区 約2,248ha≫

災害に強いすまいとまちづくり促進区域等のうち、地震時等に延焼する危険性及び避難の困難性が高く、重点的に改善を図る地区です。

安全性の確保を図るべき密集市街地の設定の考え方

【大阪域外】

災害に強いすまいとまちづくり促進区域 P.51 参照
21 市町 39 地区 約 2,421ha (H8・11 年度指定)

各地区の状況調査の結果、整備水準〈1〉及び〈2〉が達成されておらず、今後も継続して整備に取り組む必要がある地区を整理 (H23 年度)

整備水準
〈1〉不燃領域率 40%以上(国の基準と整合)
〈2〉消防活動困難区域※の解消

抽出

地震時等に著しく危険な密集市街地の設定

災害に強いすまいとまちづくり促進区域、大阪市の優先地区を対象に、以下の指標に基づき設定 (H23 年度)

国の定める「延焼危険性等の把握の基準」(H15.7)を満たす(大阪域外は優先地区抽出時に検討)とともに、設定条件①かつ②に該当する地区を設定(①か②一方だけ:設定は市の任意)

【延焼危険性等の把握の基準】

- (ア)住宅の密集度・80 戸/ha 以上
- (イ)延焼危険性・耐火に関する性能が低い住宅が大半
- (ウ)避難、消火等の困難性・幅員4m 以上の道路に接していない敷地に建つ住宅が過半

【設定条件】

- ①延焼危険性:不燃領域率 40%未満
- ②避難困難性:地区内閉塞度※が5段階評価中、3~5に該当

抽出

【大阪域】

防災性向上重点地区 P.51 参照
約 3,800ha(H11 年公表)

今後 10 年以内(H24 まで)に不燃領域率 40%以上の確保が見込めない地区を抽出(H14 年度)

抽出

特に優先的な取り組みが必要な密集住宅市街地*
(優先地区)
約 1,300ha(H14 年度公表)

抽出

取組みの基本となる地区

【大阪域外】
災害に強いすまいとまちづくり促進区域
11 市 20 地区 約 2,072ha

【大阪府全体】12 市 21 地区 約 5,872ha
災害に強いすまいとまちづくり促進区域等 P.6参照

【大阪域】
防災性向上重点地区
1 市 1 地区 約 3,800ha

重点的に改善を図る地区

【大阪域外】
6 市 10 地区 約 915ha

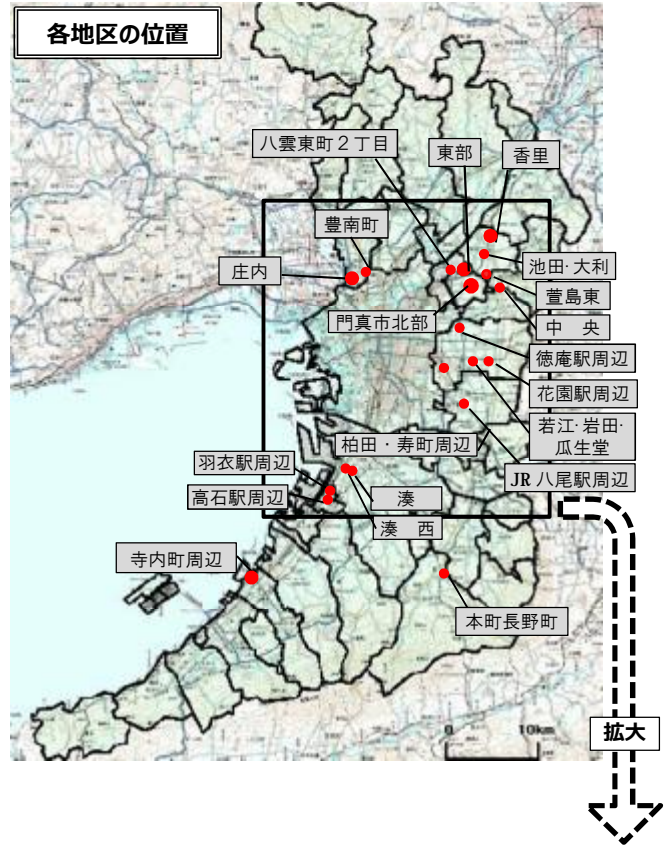
【大阪府全体】7 市 11 地区 約 2,248ha
地震時等に著しく危険な密集市街地
(平成 24 年 10 月国から公表)

【大阪域】
1 市 1 地区 約 1,333ha
*優先地区と同じ。面積を精査

安全性の確保を図るべき密集市街地について

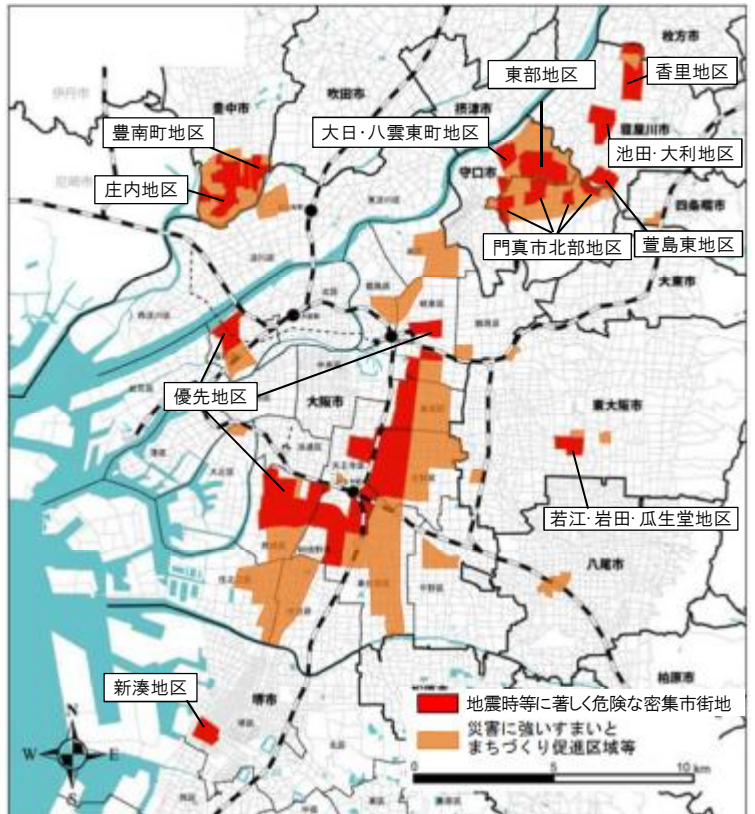
◆災害に強いすまいとまちづくり促進区域等

所在市	地区名	地区面積 (概数)
大阪市	防災性向上重点地区	3,800ha
堺市	湊	18ha
	湊西	35ha
豊中市	庄内	425ha
	豊南町	80ha
守口市	東部	397ha
	八雲東町2丁目	17ha
門真市	門真市北部	461ha
寝屋川市	萱島東	49ha
	池田・大利	66ha
	香里	133ha
四條畷市	中央	23ha
東大阪市	徳庵駅周辺	16ha
	若江・岩田・瓜生堂	59ha
	花園駅周辺	9ha
	柏田・寿町周辺	22ha
八尾市	JR八尾駅周辺	52ha
河内長野市	本町長野町	5ha
高石市	高石駅周辺	46ha
	羽衣駅周辺	53ha
貝塚市	寺内町周辺	106ha
12市	21地区	5,872ha



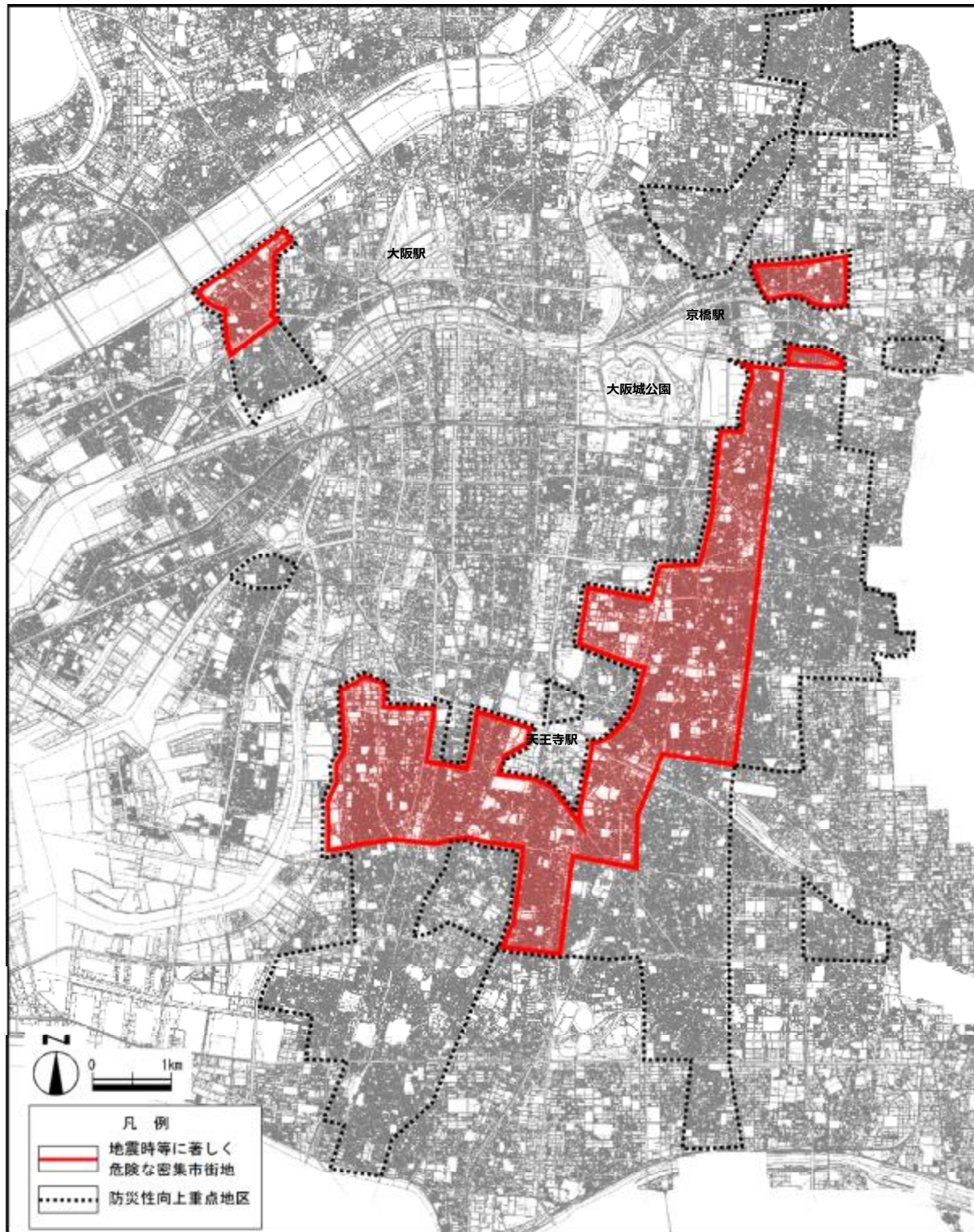
◆地震時等に著しく危険な密集市街地

所在市	地区名	地区面積 (概数)
大阪市	優先地区	1,333ha
堺市	新湊	54ha
	庄内地区	189ha
豊中市	豊南町	57ha
	東部	150ha
守口市	大日・八雲東町	63ha
	門真市北部	137ha
寝屋川市	萱島東	49ha
	池田・大利	66ha
	香里	101ha
東大阪市	若江・岩田・瓜生堂	49ha
7市	11地区	2,248ha



■「地震時等に著しく危険な密集市街地」の区域

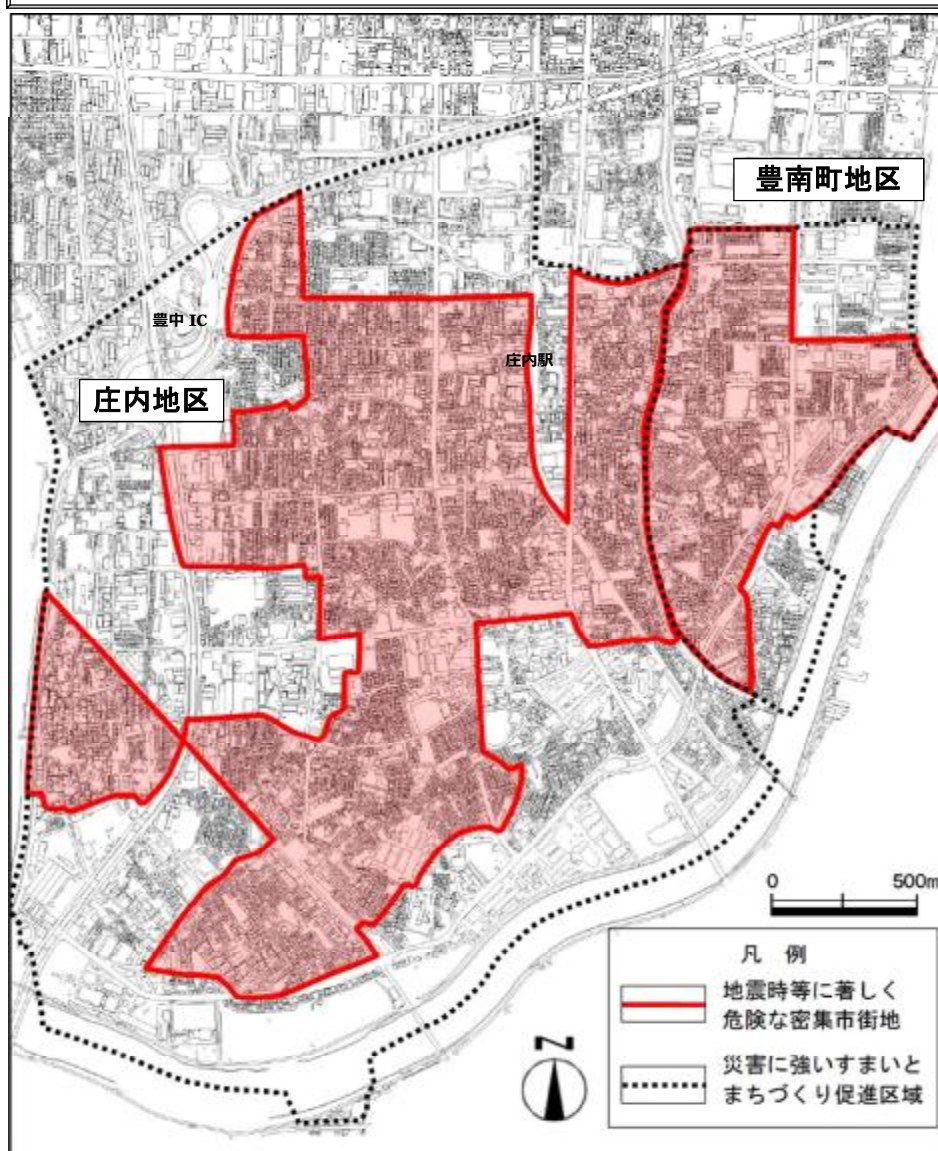
【大阪市】特に優先的な取り組みが必要な密集住宅市街地（優先地区）



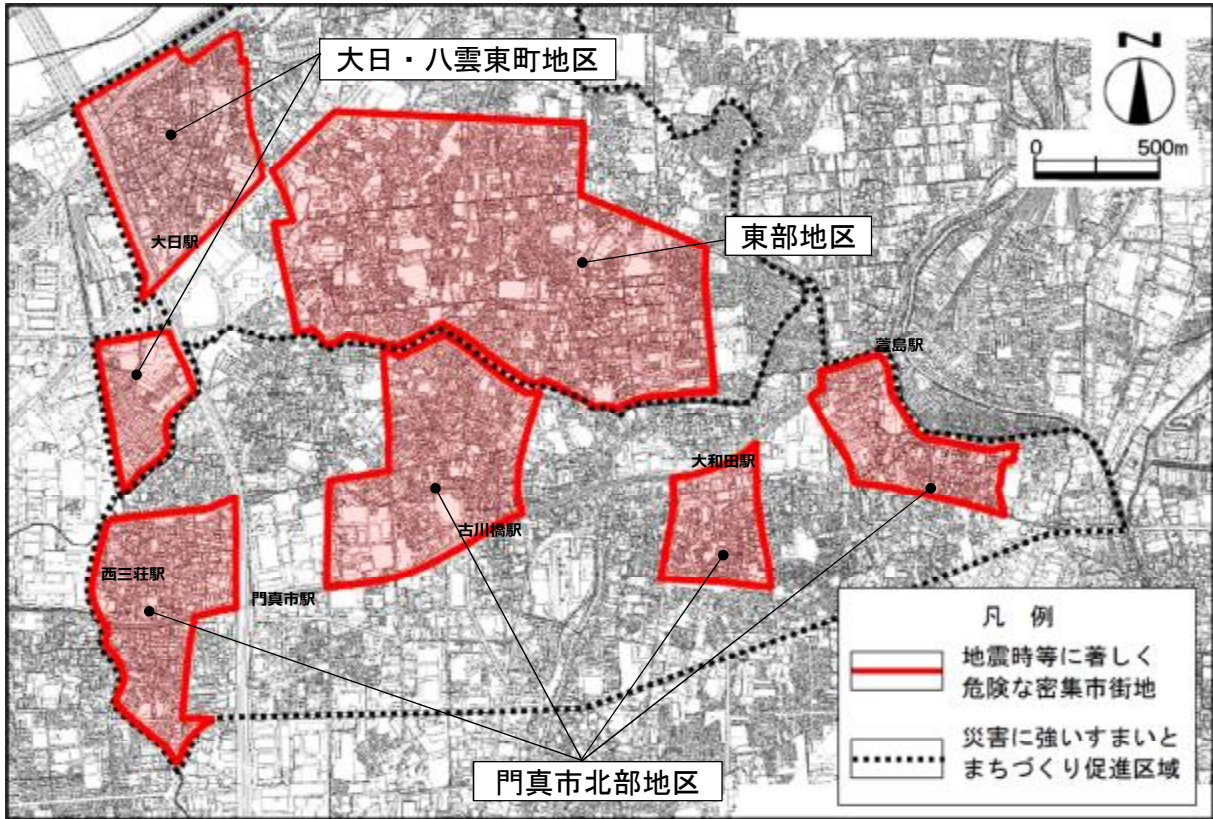
【堺市】新湊地区



【豊中市】庄内地区、豊南町地区



【守口市】 東部地区、大日・八雲東町地区 【門真市】 門真市北部地区



【東大阪市】 若江・岩田・瓜生堂地区



【寝屋川市】 萱島東地区、池田・大利地区、香里地区

